

株式会社 モスフードサービス

証券コード：8153



モスの株主通信

第48期 第2四半期報告書 2019年4月1日~2019年9月30日





株式会社 モスフードサービス
MOS FOOD SERVICES, INC.



継続的に発展できる企業を目指し、
変化をチャンスと捉えて前進していきます。

代表取締役社長 中村 栄輔

このたび日本各地を襲った台風および豪雨により被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

Q

上期の営業状況と通期業績の見通しをお聞かせください。

A

「Nothing is impossible」をスローガンとする新中期経営計画を始動した2019年度上期は、依然として消費者の節約志向が根強く、外食産業にとって厳しい状況が続きました。

そうした中、モスバーガー既存店の売上高および客数は、いずれも前年同期比100.6%となり、特に後半において回復基調となりました。後述するマーケティング施策の見直しが成果を上げている状況と捉えています。

結果として上期の連結業績は、売上高が342億8百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益9億円（同4.1%減）、経常利益9億76百万円（同4.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億2百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億10百万円）となりました。売上高700億円・営業利益16億円を目指す通期業績予想に対し、進捗はおおむね計画通りであり、下期は回復基調が力強いものになると見込んでいます。

Q

中期経営計画にもとづく各事業の取り組みをご説明願います。


A


国内のモスバーガー事業は、マーケティング施策の見直しを図るべく、2019年4月

1日付でマーケティング本部を新設し、同本部内に商品企画・商品開発部門を設置しました。これにより、**マーケティング主導での商品開発やプロモーションを推進し、顧客ターゲットを明確化した上で、定番商品の価値訴求に改めて注力しています。**一方、前期から導入したUber Eatsによるデリバリー強化は、新規顧客の獲得において着実な成果を上げており、導入店舗を2019年9月末現在で180店舗に拡大しました。

海外のモスバーガー事業は、タイにおける店舗展開を拡大すべく、2019年4月に新たに現地パートナーと契約しました。また、フィリピンおよびベトナムへの新規進出を決定し、それぞれ現地パートナーとの契約を結び、出店準備を進めています。ベトナムでは、国立ダナン観光短期大学との提携により、ベトナム人材の育成・採用プログラムを開始しています。

その他飲食事業では、業態複合店舗の出店や、病院・介護施設への特別メニューの提供など、新たな取り組みを開始しました。


 **「beyond2020 プログラム」への認証についてお聞かせください。**

 当社は、**内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が推進する「beyond2020 プログラム」に賛同し、「日本の食文化事業の発信」に関する活動が認証され、多言語**

対応を中心とした取り組みをしています。

実施内容として、外国人のお客様向けに多言語メニュー（英語・中国語・韓国語）をモスバーガー全店舗（一部店舗除く）で導入し、またホストタウン登録されている114の自治体と連携した363の対象店舗では、ホストタウン相手国・地域、42言語のメニュー導入やホストタウン活動の情報発信を行っています。日本の食文化を海外に伝える機会の取り組みとして、有意義なものにしたいと考えています。

 **株主の皆様へのメッセージをお願いします。**

 当社は、経営理念「人間貢献・社会貢献」のもと、「感謝される仕事」への想いを大切にしながら、事業を継続的に発展させるべく、さまざまな環境変化をチャンスとして捉え、中長期の成長に向けた取り組みを進めてまいります。

なお当社では、**株主の皆様からのご意見に耳を傾け、株主優待券のポイント交換対応や優待区分の改善、株主懇談会の開催拡充など、株主施策の向上に努めております。**これからも忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いに存じます。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業をお見守りいただき、長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

FOCUS

おいしさ長持ち!

約2年ぶりにバンズをリニューアル!

重量も約3%増量し
ボリュームアップ!



ふっくらと

やわらかな食感へ

パン生地に発酵種“ルヴァン*1”を使用することで、保水性をアップさせ、よりふっくらとやわらかな食感に仕上げました。

※1 フランス語で“発酵種”という意味です。酵母と乳酸菌が共存している小麦粉、水などからなる発酵物で、そのままか、もしくはパン酵母と併用して、パン作りに用いられます。

しっとりとした

食感が長持ち

テイクアウト時もパサつきを抑制し、おいしさが長持ちするように改良しました。



写真の商品は
モス野菜バーガーです。

重量を増量してボリュームアップ

バンズの重量を約3% (平均) 増量し、満足感と食べ応えをアップしました。

リニューアルしたバンズを使った新商品・限定商品



4年ぶりに復活！ 「カレーモスバーガー」※2

より日本人の味覚に合うよう、本格的なスパイスの味わいの中に和風の旨みを感じられるハンバーガーへ仕上げました。



金曜日限定 「ごちそうチリバーガー 2種のチーズ」

オリジナル国産チーズの追加でプレミアム感を出し、“モスフライデー”にかけて「オニオンフライ」もトッピングしました。

音までおいしい 「海老天七味マヨ」※2

“ざくりざくり”とした食感の海老の天ぷらにトマトの酸味と七味マヨソースの辛味が効いた、音までおいしいハンバーガーです。



ボリュームたっぷり 「ジャンボメンチ」※2

モス史上最大級の大きさの牛メンチカツは、バンズから360度どこからもはみ出すほどのボリューム感です。



※2 現在は販売終了しています。

軽減税率制度への対応について

本体価格は据え置き、税別表示にいたしました。

当チェーンでは、商品の本体価格は変えずに、テイクアウトのお客様の税率は8%、イートインのお客様の税率は10%といたしました。10月の消費税率引き上げに向け、7月からハンバーガー商品のバンズ（パン）の重量を増量して価値向上を図るとともに、テイクアウト需要が増えることを見据え、おいしさが長持ちするよう2年ぶりにリニューアルしました。



お得なポイント 還元企画を実施

モスカードでの会計の際に決済額の2%をMOSポイントに即時付与するキャンペーンを実施中です（2019年12月31日まで）。MOSポイントは1ポイント（1円分）単位でご利用できます。

2019年度上期の主なトピックスをご紹介します。

「激辛テリヤキチキンバーガー」新発売*

世界最強クラスの激辛唐辛子『トリニダード・スコピオン・ブッチ・テイラー』を使った“モス史上最も辛い”バーガーです。*現在は販売終了しています。



「トリニダード・スコピオン・ブッチ・テイラー」イメージ

JAL機内食「AIRシリーズ」 「AIR MOS テリヤキバーガー」

9回目の今回は、「AIR MOS テリヤキバーガー」が登場。オリジナルソースや機内食専用のパティを使用しJALオリジナルにアレンジしました。(6~8月、国際線欧米豪路線にて提供)



「タピオカ冬瓜茶ミルク」 「タピオカ抹茶ミルク」新発売*

台湾産ブラックタピオカを使用し、モチモチとした食感と噛みごたえをお楽しみいただけます。*現在は販売終了しています。



5月



6月



7月



病院・介護施設向けに塩分を低減したハンバーガーを開発

日清医療食品からの要請を受け、塩分を既存のモスバーガーの約35%に抑えた病院・介護施設向け「モス特製ハンバーガー」を開発いたしました。高齢者でもおいしく食べられるよう、バンズ(パン)、パティ(肉)を柔らかく仕上げました。お肉が苦手な方には、大豆由来の植物性たんぱくを使ったパティ(ソイパティ)を使用します。日清医療食品は、全国約5,300件の病院・介護施設向けに食事提供サービスを行っており、当社を含む3社のコラボレーションによる特別メニュー「みんなの日曜日」の提供を開始しました。「入院前や介護施設への入所前にいつも楽しんでいただいていた日曜日を」をコンセプトに、日曜日に外食をしていた時の気分が感じられる食事を提供する新たな取り組みです。



おでかけランチ(モスバーガー)



トレーマット

「beyond2020 プログラム」に認証

日本の食文化の発信やインバウンド対策を目的に、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が推進する「beyond2020 プログラム」に賛同し認証されました。外国人のお客様向け多言語メニュー(英語、中国語、韓国語)をモスバーガー全店舗(一部店舗除く)で導入し、さらに、ホストタウン自治体(114自治体)と連携した店舗(363店舗)では、ホストタウン活動の情報発信や相手国主要言語(67国・地域、42言語)のメニューも導入しています。

*自治体数及び対象店舗数は、2019年9月30日現在の数です。



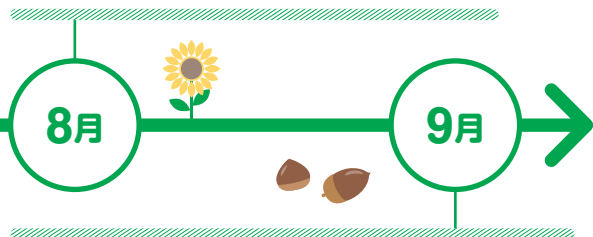


モス史上最強の辛さのトッピングソース

「黒いデスソース」新登場*

「トリニダード・スコピオン・ブッチ・テイラー」に、チポトレ(ハラペーニョを燻製にしたもの)などをプラスして、刺激的な辛さと豊かな香りに仕上げたソースです。

*現在は販売終了しています。



“MOS JAPAN PRIDE”第1弾

「海老天七味マヨ」「ジャンボメンチ」が新登場*1

代表的な日本料理“海老の天ぷら”に日本三大七味唐がらしの一つと言われる京都老舗の「七味家本舗*2」の七味を使用した「海老天七味マヨ」と、明治時代に誕生したと言われる日本生まれの洋食「メンチカツ」を挟んだ「ジャンボメンチ」を“MOS JAPAN PRIDE”第1弾としてお届けしました。

*1 現在は販売終了しています。

*2 京都・清水寺参道で、約360年前の明暦年間(1655~1659年)に創業した七味唐がらしの老舗です。



海老天七味マヨ



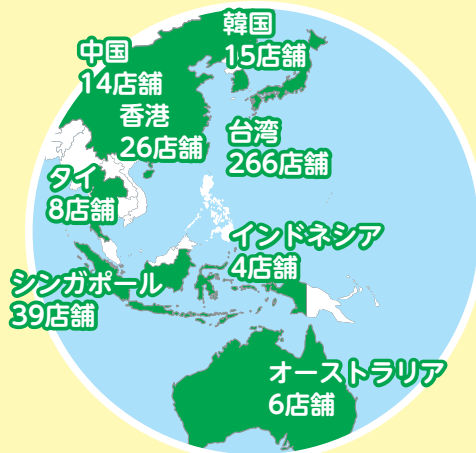
ジャンボメンチ

モスの海外展開

海外378店舗を展開

(2019年9月30日現在)

「おもてなし」、「品質」、「安全・安心」を兼ね備えた日本の食文化の価値を、世界の人々へ



フィリピン現地パートナーと提携

今年度内の初出店を予定し、有力現地パートナーと提携、2027年度までに50店舗の出店を計画しています。



調印式の様子

経済成長著しいベトナムへ出店予定

来年度の初出店に向け、有力現地パートナーと提携し、2023年度までに10店舗を出店する予定です。



調印式の様子

株主様のお声・ご意見から実現しました

当社ではダイレクトコミュニケーション(直接対話)を大切に、株主様やお客様の声を新たなサービスや施策に活かしていきたいと考えています。株主総会や株主さま懇談会などでいただきました多くのご意見・ご要望の中から、今年度、株主優待に関して実施となりました、二つの事例をご紹介します。

事例 1

株主優待券を、モスカードの「MOSポイント」に交換することが可能になりました。

商品ご購入の際にモスカードを日頃ご利用いただいている株主様から、「株主優待券をモスカードにチャージして使いたい」とのご意見を多くいただき、検討しました結果、今年6月より、モスカードの「MOSポイント」として交換することができるようになりました。株主優待券1枚500円分→500ポイントに交換することができ、商品ご購入時に1ポイント(1円分)単位でご利用いただけます。「MOSポイント」に交換をご希望の際は、モスバーガー及びモスカフェ店舗のレジにてお申し出ください。

※モスカードの「MOSポイント」使用可能店舗は、モスバーガー、モスカフェ、マザーリーフです(一部店舗を除く)。他のグループ店舗及びミスタードーナツ店舗では、ご利用いただけません。



事例 2

株主優待制度に、新たに「300株以上500株未満」の優待区分を追加いたします(2020年3月末日基準日より)。

当社の株主優待制度は、「100株以上500株未満」「500株以上1,000株未満」「1,000株以上」の三つの優待区分で実施してまいりました。株主様からのご意見もいただき、より魅力ある制度とするため、新たに「300株以上500株未満」の優待区分を追加することになりました。(2020年3月末日現在の株主名簿に登録された株主様より、変更の対象となります。)

現行		変更後	
100株以上 500株未満	2枚 (1,000円相当)	100株以上 300株未満	2枚 (1,000円相当)
		300株以上 500株未満	6枚 (3,000円相当)
500株以上 1,000株未満	10枚 (5,000円相当)	500株以上 1,000株未満	10枚 (5,000円相当)
1,000株以上	20枚 (10,000円相当)	1,000株以上	20枚 (10,000円相当)

※所有株式数に応じて、全国のモスグループ店舗及びミスタードーナツ店舗(一部店舗を除く)でご利用いただける株主優待券(500円券)を送付
※3月末日及び9月末日を基準日として、年2回実施(発送は6月、11月予定)



各事業内容



モスグループは「食を通じて人を幸せにすること」という経営ビジョンのもと、モスバーガー事業（国内）、モスバーガー事業（海外）、そしてその他飲食事業の3つの事業と、それらを支援するその他の事業を展開しています。

モスバーガー事業（国内）

標準タイプの「モスバーガー」のほか、都市部を中心としたカフェタイプの「モスカフェ」などの店舗展開を進めています。



1,300店舗

モスバーガー事業（海外）

8つの国と地域（台湾、シンガポール、香港、タイ、インドネシア、中国、オーストラリア、韓国）で展開しています。



378店舗

その他飲食事業

紅茶専門店「マザーリーフ」、フードコート向けの本格パスタ店「ミアクッチーナ」など、新たなFC店舗モデルの開発を進めています。



39店舗

その他の事業

衛生管理業務を行う（株）エム・エイチ・エス、モスグループ加盟店を対象に融資・保険業務を行う（株）モスクレジットなどのグループ会社を有しています。



※店舗数：2019年9月30日現在

その他飲食事業

～フードホールスタイルによる店舗の誕生～

「MOS PREMIUM」と「マザーリーフティースタイル」の複合店舗をオープン



2019年7月、「MOS PREMIUM（モスプレミアム）」と「マザーリーフティースタイル」を複合させた店舗を横浜市の商業施設「クロスゲート」にオープンしました。「モスプレミアム」ではワンランク上のハンバーガーやアルコールメニュー、「マザーリーフティースタイル」ではワッフルや紅茶など、個性の異なる店舗を1つの空間に集めるフードホールスタイルでアレンジし、昨今の多様化した食のニーズに対応しています。



桜木町クロスゲート店 外観



桜木町クロスゲート店 内観

連結決算ハイライト

(単位：百万円)

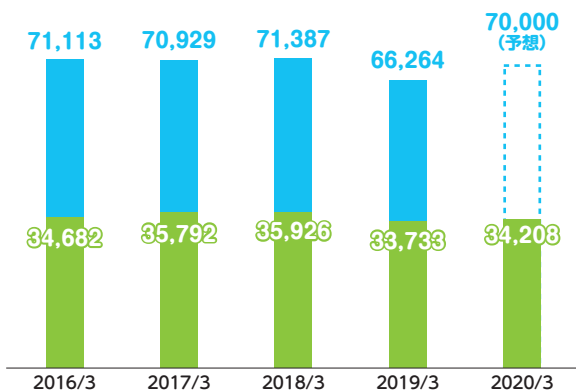
	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期 (予想)
売上高	35,926	71,387	33,733	66,264	34,208	70,000
売上総利益	18,265	35,592	16,807	32,665	17,259	—
営業利益	2,324	3,734	938	517	900	1,600
経常利益	2,447	3,911	1,025	724	976	1,800
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 又は 親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)	1,554	2,385	△110	△907	402	1,000
純資産	47,592	47,950	47,085	45,460	45,488	—
総資産	62,283	61,834	61,315	60,588	63,331	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,207	5,096	860	837	2,800	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△721	△3,387	△181	△2,217	△11	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,013	△1,665	△714	184	△1,011	—
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	12,425	11,047	10,952	9,795	11,020	—

※ 配当金につきましては、直前に公表されている予想のとおり1株につき通期で28円を予定しております。

売上高

(単位：百万円)

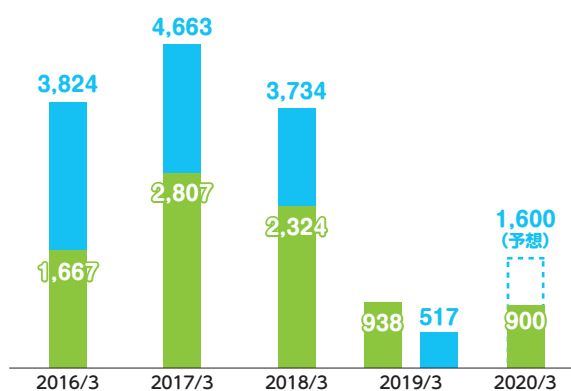
■ 第2四半期(累計) ■ 通期



営業利益

(単位：百万円)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



会社・株式情報 (2019年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社モスフードサービス MOS FOOD SERVICES, INC.
設立年月日	昭和47(1972)年7月21日
資本金	114億1,284万円
主な連結子会社	株式会社モスストアカンパニー 株式会社エム・エイチ・エス 株式会社モスクレジット 株式会社モスダイニングなど8社 他に、持分法適用会社9社

役員

代表取締役 取締役会長	櫻田 厚
代表取締役 取締役社長	中村 栄輔
常務取締役 執行役員	福島 竜平
取締役 執行役員	柳 好美
取締役 執行役員	後藤 幸一
取締役 執行役員	内田 優子
取締役 (社外取締役)	高岡 美佳
取締役 (社外取締役)	西川 守男
常勤監査役	永井 正彦
常勤監査役	臼井 司
監査役 (社外監査役)	五十嵐 邦正
監査役 (社外監査役)	村瀬 孝子

株式の状況

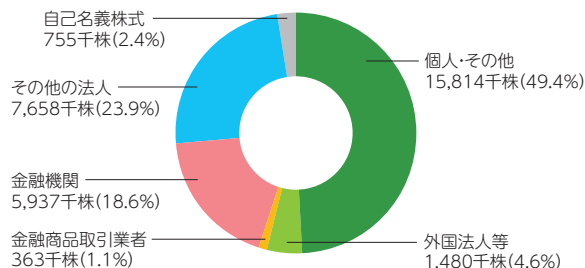
発行可能株式総数	101,610,000 株
発行済株式総数	32,009,910 株
株主数	38,776名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,207	7.06
紅梅食品工業株式会社	1,400	4.48
株式会社ダスキン	1,315	4.21
株式会社ニッポー	1,214	3.89
日本生命保険相互会社	1,209	3.87
大同生命保険株式会社	790	2.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	752	2.41
山崎製パン株式会社	718	2.30
株式会社三菱UFJ銀行	621	1.99
日本ハム株式会社	431	1.38

※当社は自己名義株式を755千株保有しておりますが上記の大株主より除外して
います。

所有者別株式分布状況



株主インフォメーション

株主優待制度

所有株式数に応じて、全国のモスグループ店舗*及びミスタードーナツ店舗（一部店舗除く）で利用できる株主優待券を、年2回ご提供しています。

*モスグループ店舗：モスパーカー、モスカフェ、モスクラシック、モスト、モスプレミアム、マザーリース、ミアクッチーナ、あえん、シェフズブイ、グリーングリル など。

※株主優待券は、モスカードのMOSポイントに交換することができます。詳細はP7をご覧ください。

発行月 6月、11月（予定）

対象基準 単元株（100株）以上の株式を所有している方が対象となります。6月発行分は、3月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。11月発行分は、9月末日現在の株主名簿に登録されている方が対象です。

優待内容 100株以上500株未満
年間2,000円分（500円×2枚を年2回）
500株以上1,000株未満
年間10,000円分（500円×10枚を年2回）
1,000株以上
年間20,000円分（500円×20枚を年2回）

※2020年3月期より、優待区分が新設されます。詳細はP7をご覧ください。

有効期限 6月発行分 翌年3月末日まで
11月発行分 翌年9月末日まで

2,000円相当の商品（ご参考）



※バーガー類とあわせてご購入いただけるセットの1つです。

株式についてのご案内

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金基準日 3月31日

中間配当金基準日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人、
特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場金融商品取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告による

公告掲載URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/8153/8153.html>

（ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告します。）

PICK UP MENU!!

期間
限定

冬の定番あったかスープ
ミネストローネ



オリーブオイルでんにくとベーコン、玉ねぎ、にんじん、セロリをじっくり炒め、その後ブイヨン、キャベツ、トマトのトマトピューレづけ、ズッキーニ、赤ピーマン、黄ピーマンを入れて煮込み、最後にじゃがいもを入れました。本格的で味わい深いミネストローネです。



この冊子の印刷には、グリーン電力を一部使用しています。